米作り体験隊　（１１）　　＊＊　稲の刈り取り　＊＊　　（２０１５．１０．１８）

稲刈りの予定は１７日でしたが天候がすぐれず、翌１８日に実施されました。
青空、温かく、大山も見ることができました。待たれる、お米の引き取りは２４日（土）です。

イネは田植えの頃の緑色から、黄金色に変身し皆を待っていました。

文字通りの「金田」です

見てください。

丹精のかいがあり、十分な実りです。

開会式

「刈り取りには「鎌」を使います。のこぎりのようなギザギザの歯がついています。ケガをしないように注意して使ってください。

何かあれば、すぐに連絡してください」ハッパ会の方から伝えられました。

この機械は「コンバイン」です。今日は、その威力を見てもらいますが、「刈り取り」「脱穀」と機械が行い、「モミ米」を運搬の車に積み替えます。

稲わらは「裁断」「束ねる」のも自動的です。裁断された稲わらは、田んぼにすきこみ、肥料にします。束ねた稲わらは、家畜の飼料、畳の芯などに使われます。

昔は、燃料、履物、むしろ、農具等に使われ、必需品でした。

皆が「鎌」を持ち、稲刈りが始まりました。

早いですね。

どんどん、刈り取りが進みます。

刈り取ったイネを束ね、コンバインに運び、「脱穀」します。

機械の操作は担当の方々。

「僕も、持ってきたよ」

「私も、集めました」

「はい、お願いします」

刈り取られた後の田んぼに、
「田植え」のときや「田の草取り」の
「足跡」　でしょう。
そのまま、残っていました。

田んぼの中にいた「カエル」。

稲刈りが進むと逃げ場がなくなり、沢山、
飛び出してきました。
稲刈りが残っているのに・・・

　稲刈りは終了しました。
刈り取られた黄金色の「稲穂」は、コンバインで「モミ米」になり、「ホッパー車」に積み替えられ農家さんの乾燥機にかけられ、「玄米」にされます。

　終了の宣言がされました。

「余力があり、希望する人は、隣の稲刈りをやってください」と、告げられました。

再度、刈り入れに挑戦しました。

左側では、稲わらを四束組み合わせ、乾燥させる仕組みを立てています。

「籾ガラ」を分けてもらいました。家庭菜園で野菜の根元にまいて、「寒さ除け」、土に混ぜ込んで「土壌の改良」に役立てます。

次回は、１０月２４日（土）です。「総収穫量」予想の宿題が出ています。